



兵庫県議会議員

橋本なるとし

秋の虫の音が耳に心地よい季節になりました。

議場棟耐震不足のため兵庫県公館で行われた第364回定例会にて、橋本なるとしは所属会派ひょうご県民連合を代表し初めての質問に立ちました。本号では主にその内容をお届けします。

兵庫県議会第364回定例会 審議日程：2023年9月20日～10月23日

代表質問の
当日の様子は
こちらから



1 子どもの生命、生存を守る取り組みについて

質問

現状では、児童相談所(県こども家庭センター)が、現場へ介入して児童の安全を確保する機能と、家庭への再統合を支援する機能を一元的に担っていますが、組織的に分離し、現在も法令上の配置基準に満たしていない児童福祉司・児童心理司の確保・育成を急ぐべきでは?また、当事者である子どもの意見を尊重する取り組みについて、県の施策展開は?

9月補正予算案で、県警察とのリアルタイム情報共有システムの導入を提案しました。今後、情報の利用範囲や県と警察の役割分担と連携のあり方を明確にした運用のルールづくりを進めるほか、県こども家庭センターでは介入的対応を行う専門チームと家族支援を行うチームを編成し、体制の充実・強化を図っていきます。また令和3年から県弁護士会の協力のもと、順次一時保護児童、施設入所児童等の意見表明支援に取り組んでいます。

答弁

2 若者・Z世代応援パッケージと県立大学の授業料等無償化について

質問

全国で大学生の約半数が奨学金を利用し、うち約7割が貸与型奨学金を利用、平均借入額も約310万円になります。県立大学の授業料等無償化は進学希望者の支援の可能性を開くものの、対象者は県民のごく一部に限られバランスを欠いています。より幅広いバランスのとれた支援を行うためには、公民をあげての給付型奨学金の拡充策や、奨学金返済支援制度の拡充など様々な施策を重層的に整備し、最終的には国全体での高等教育無償化につなげていく必要があると考えますが、県立大学の授業料等無償化の戦略的な位置づけは?

県立大学の無償化は、少子化が進む中で重要となるZ世代への支援施策の1つで、来年度予算に向けてとりまとめ予定です。高等教育においてより幅広いバランスのとれた支援を行うためには、県、国、自治体、企業などが様々な施策を重層的に整備し、国全体での負担軽減・無償化を行うことが大事だと考えており、国にもしっかりと要望を行っていきます。「対話と現場主義」を徹底し、若い当事者の意見を聞きながら必要な施策を検討・実施していきます。

答弁



第2回県政報告会
開催のご案内

日 時： 2023年10月29日(日)13～14時
場 所： 橋本なるとし事務所(宝塚市野上2-4-15)
申 込 先： hashimotonarutoshi@gmail.com
※ 席確保の都合上、事前にお申込みをお願いします。

3 県組織全体の活性化と 会計年度職員の処遇改善について

質問

県組織全体を活性化していくために、職員の人材マネジメント方針の運用、特に納得性のある人事評価が重要。また職員を補完する会計年度任用職員の処遇改善について、今後の方針は？



人事評価制度を見直し職員の成長につながるよう面談を拡充しました。テレワークにおいては定期的なグループミーティングのオンライン開催等を定めた共通ルールを導入しました。会計年度職員については、2020年度に期末手当の支給等の処遇改善を行いました。今後、勤勉手当の支給についても検討を進めます。

答
弁

4 不登校対策のさらなる充実について

質問

「ひょうご不登校対策プロジェクト」において検討委員会や推進協議会で取組みを進めていると聞いていますが、児童生徒の学びと育ちを豊かにしていくため学校内外のリソースや専門家とのネットワークをさらに充実させる必要があります。不登校特例校の設置促進、学校内の加配教員の充実等、県の現在および今後の取組みは？

- ①学校でのスクールカウンセラー等も含めた全教職員によるチーム学校としての取組、②地域での「つながり」と居場所づくり、③出席扱いも含めたフリースクールなど支援関係機関での「多様な学びの場」の確保、④校内サポートルームの充実や不登校特例校の設置検討など「ケースに応じた効果的な支援」の4つを柱とした具体的取組内容を示し、全県一丸となって取組みを推進していきます。

答
弁

5 天神川氾濫災害の補償と再発防止策について

質問

本年5月に発生した天神川氾濫災害について、調査委員会において再現シミュレーションを行い氾濫要因が特定されたと聞いていますが、再発防止の取組みは？また今後本格化する補償交渉に向けた組織的な体制整備は？

補償委員会の提言に基づき補償額を算定中で、9月末から始める個別交渉が円滑に進むよう宝塚土木事務所に担当職員を増員しました。再発防止に向けては、困難性の高い工事も計画から設計・施工まで一貫して経験し高い技術を持つ河川担当職員の育成、難易度の高い工事では専門家から助言を受ける技術検討会を設置する等、安全な業務環境の構築に取り組んでいきます。

答
弁

9月16日、宝塚市子どもの権利サポート委員会の報告会に参加しました。ゲストスピーカーは大阪・西成で40年以上「こどもの里」を運営する荘保共子さん。宝塚市のご出身です。長年の子ども支援の実績に基づく「子どもの命をど真ん中に」という発言には重みと迫力があり、学ぶことの多い時間でした。



- 6 7 その他、「精神科病院への長期入院者の地域移行の推進と
権利擁護の取組みについて」、「地域経済を支える人材の
育成・確保について」、「職員の働き方と県庁舎のあり方について」、
8 計8つの課題について質問しました。

- 学歴：宝塚武庫山幼稚園 / 宝塚第一小学校 / 大阪教育大学附属池田中学校・高校 / 京都大学法学部卒
- 職歴：宝塚市役所 / 衆議院議員桜井シュウ秘書 / 兵庫県議会議員 (2023年4月～) / 立憲民主党所属

発行元：兵庫県議会議員 橋本なるとし

〒665-0022 兵庫県宝塚市野上2丁目4-15

0797-26-7588 / 0797-26-7589(FAX)

hashimotonarutoshi@gmail.com

https://hashimoto-narutoshi.com



橋本 なるとし

検索